

「交通安全県ちば」の実現を目指して

～交通安全活動を県内各地で展開～

子供に



流山交通安全協会
通学路での保護誘導活動

高齢者に



行徳交通安全協会
高齢者に対する交通安全啓発活動

自転車利用者に



松戸交通安全協会
自転車の安全な乗り方教室

運転者に



千葉南交通安全協会
運転者に対する運転適性検査

令和2年中の 交通死亡事故発生 状況について

発生状況	区分	令和2年中	前年比
	発生件数(件)	12,873	-3,603
	死者数(人)	128	-44
	負傷者数(人)	15,415	-4,489

(人)

死者の状況別	区分	令和2年中	前年比
歩行者	子供	0	-2
	高齢者	37	-12
	その他	17	-7
自転車	子供	0	±0
	高齢者	12	-3
	その他	10	+1
二輪車	若者	4	-7
	高齢者	3	-2
	その他	6	-7
四輪車	若者	4	-1
	高齢者	21	+1
	その他	13	-5
	その他	1	±0

(人)

死者の多い都道府県	順位	区分	令和2年中	前年比
	1	東京都	155	+22
	2	愛知県	154	-2
	3	北海道	144	-8
	4	神奈川県	140	+8
	5	千葉県	128	-44
	6	大阪府	124	-6
	7	埼玉県	121	-8
	7	兵庫県	110	-28
	9	静岡県	108	+7
	10	福岡県	91	-7

※ 全国の死者 2,839 人 (前年比 - 376 人)

交通死亡事故の特徴

● 事故類型別発生状況

・事故類型別では、車両対歩行者が53件(42.4%)、車両単独が37件(29.6%)、車両相互が35件(28.0%)となっています。
(なお、車両相互には自転車関連事故15件が含まれています。)

● 昼夜間別発生状況

・昼夜別では、昼間が63件(50.4%)、夜間が62件(49.6%)となっています。
・昼間の類型別では、車両単独が24件(38.1%)、車両相互が22件(34.9%)、車両対歩行者が17件(27.0%)、また夜間の類型別では、車両対歩行者が36件(58.1%)、車両相互及び車両単独がそれぞれ13件(21.0%)となっています。

● 年齢層別死者数

・高齢者が74人(57.8%)と最も多く、次いで40歳代及び50歳代がそれぞれ13人(10.2%)、若者が12人(9.4%)、60歳～64歳が7人(5.5%)、25歳～29歳及び30歳代がそれぞれ4人(3.1%)、子供が1人(0.8%)となっています。

● 状態別死者数

・歩行中死者が54人(42.2%)と最も多く、次いで四輪乗車中死者が38人(29.7%)、自転車乗用中死者22人(17.2%)、二輪乗車中死者が13人(10.2%)、その他が1人(0.8%)となっています。なお、歩行中死者のうち37人(68.5%)が高齢者でした。

● 原因となった違反別

違反種別	令和2年中(件)	構成率(%)
速度超過	3	2.4
酒酔い運転	1	0.8
一時不停止	2	1.6
信号無視	5	4.0
直前右折等	3	2.4
右側通行追越し等	2	1.6
歩行者妨害等	3	2.4
安全運転義務違反	104	83.2
その他	2	1.6

令和2年度 交通指導員研修会を開催

県交通安全協会は、12月中旬に流山市、匝瑳市、木更津市、千葉市の4会場において、令和2年度交通指導員研修会を開催しました。

この研修会は、新任の交通指導員が交通事故防止活動の基本理念や街頭活動要領等について、実践的に学ぶことを目的に、毎年開催しております。

研修は、県協会総務部長による「交通指導員の心構えにつ



匝瑳会場



流山会場



千葉会場



木更津会場

て」に続き、県警交通総務課担当官による「交通安全活動の実施要領について」のほか、「高齢者の自転車用ヘルメットの必要性」について熱心に学びました。

交通指導員には、県内で3千人を委嘱しており、令和2年中は約9千回、述べ約3万4千人が出動し、交通安全運動での啓発活動や保育園、小学校での交通安全教室、児童の登下校時の保護誘導活動等に従事しました。

各地の交通安全活動ニュース



一宮 睦沢町認定こども園での交通安全教室



行徳 行徳駅前での交通安全啓発活動



千葉中央 警察署での緑十字銅章伝達式



いすみ いすみ市教育委員会での横断旗贈呈式



松戸 稔台小学校での交通安全教室



千葉東 千城台高校付近での自転車マナーアップ活動



勝浦 上野小学校での交通安全教室



松戸東 ピコティ前での交通安全キャンペーン



千葉西 磯辺公園での交通安全講話



大多喜 老人福祉センターゲートボール場での交通安全講話



佐倉 カインズ八街店での交通安全キャンペーン



船橋 夏見台6丁目での交通事故防止キャンペーン



館山 イオンタウン館山での交通安全キャンペーン



旭 警察署での県連名表彰伝達式



鎌ヶ谷 栗野付近での歩行者の保護誘導活動

反射材を身に つけましょう！

令和2年中、夜間帯に歩行者が被害にあった交通死亡事故で、反射材を着用していた歩行者は1人もいませんでした。

明るい色の服を着用のほか、反射材やLEDライトを身につけて、千葉県内の反射材着用率アップを目指して、夕暮れ時から夜間、明け方の交通事故を防ぎましょう。

キャッチフレーズ

キ⇒ 危険を回避

ラ⇒ ライトアップ

リ⇒ リフレクターや
LEDライト

アップ☆ちば

⇒千葉県全体の反射材の着用
率をアップ



明るいところでは目立ちませんが



暗いところで光を当てると反射します。

協力：千葉県立佐倉東高校

賛助会員入会のお願い

公益財団法人千葉県交通安全協会は「交通事故のない、安全で安心して暮らせる千葉県」をつくるために各種の交通安全事業を行っています。当協会の活動にご賛同いただける個人又は団体に賛助会員としての入会をお願いしています。詳しいことは、右までお問い合わせください。

発行 公益財団法人千葉県交通安全協会

ホームページアドレス

<http://www.chiba-ankyoo.or.jp>

千葉市美浜区浜田2丁目1番

千葉県警察本部交通部運転免許本部内

電話 043-271-8481

交通ルールを守って
つながる笑顔

